

機械器具 44 医療用やすり
一般医療機器 歯科用辺縁仕上げファイル 31863000

SJCD骨ファイル

【形状・構造及び原理等】

〔概要〕 歯又は他の歯科用修復物の縁の仕上げに用いる目の細かい表面をもつステンレススチール製の歯科用器具。

〔形状・構造等〕

下記外観写真の通り

種類：2種類



〔原理〕

作業部表面の目で歯、骨等を擦る事で切削・切断できる。

【使用目的又は効果】

骨の切断・絞断及び切削に用いる。

【使用方法等】

- 1) 使用する前に、本品が滅菌済みであることを確認する。
(オートクレーブ滅菌可。135℃以下厳守)
- 2) ハンドル部を手指でしっかり握り、作業部位に本製品の先端のやすり部をあて、切削操作を行う。

【使用上の注意】

1. 使用前の清掃について
使用前に必ずアルコールを含ませた脱脂綿等で器具全体を十分清掃し、その後にオートクレーブ等で滅菌を行うこと。
2. ステンレススチール使用。
素材のステンレス鋼は鉄に対して錆び難い金属であるが、使用方法、環境によっては腐食（錆び）することがある。
3. 家庭用洗剤の使用注意。
家庭用洗剤は、金属を腐食させることがある。洗浄には、歯科用防錆洗浄剤の使用が好ましい。
4. 機能水の使用禁止。
超酸化水（超酸性水）等は、金属を腐食させることがあるので使用しないこと。
5. 洗浄、消毒、滅菌上の注意
 - ・次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ポピドヨード、ホルマリン・フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン等は、金属腐食を起す恐れがあるので注意する。
 - ・薬液消毒を行う時は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守る事。薬剤の種類によっては、金属又は樹脂素材に影響を及ぼすことがある。
 - ・使用後は、器具に付着した血液、体液、組織片を速やかに除去すること。
 - ・洗剤の残留がないように十分にすすぎをすること。
 - ・洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥すること。この時、防錆潤滑油を塗布する事を推奨する。
 - ・洗浄、消毒、滅菌には出来るだけ精製水を使用すること。
 - ・加熱滅菌器（オートクレーブ滅菌器等）の乾燥温度に注意する事。高温の乾燥は、器具が変質、変形又は変色することがある。（温度：135℃以下厳守）
 - ・洗浄、消毒、滅菌後の器具は水分を除去し、十分乾燥させてから保管すること。
水分が付着したまま長時間放置すると、錆び、シミ等の原因となる事がある。

6. 磨き粉、金属ウール、金属ブラシの使用禁止。

腐食（錆び）の原因になるので、洗浄の際、磨き粉や金属ウール、金属ブラシを使用しないこと。

7. 保管上の注意。

「もらいさび」を防ぐ為、十分に水分を拭き取り、錆びている器具と一緒にしない事。

又、化学製品と一緒に収納・保管しない事。

【取り扱い上の注意】

- ・器具の寿命を著しく低下させるので、粗雑な取り扱いをしない事。
- ・刃部の溶解や破折の原因となるので、器具をヒーティングしない事。

【保管方法及び有効期間等】

常温保管

【保守・点検に係る事項】

〔使用前・使用後の点検〕

使用前・使用後は、破損、ヒビ、先端及び柄部のキズ、大きな腐食等がないか確認する事。これらがある場合は使用を中止する事。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社マイクロテック
〒111-0036 東京都台東区松が谷1丁目8番9号
Tel：03-5827-1380 Fax：03-5827-1381
製造業者：Otto Leibinger GmbH (Germany)